

「『**かながわグランドデザイン** **基本構想**』の点検」
について

令和4年11月
政 策 局

基本構想について（議会答弁）

■ 令和4年9月12日 神奈川県議会本会議 知事答弁

次に、基本構想の見直しの検討についてです。

基本構想策定から10年が経過する中で、本県も人口減少局面に入り、自然災害の激甚化、デジタル化の加速など、社会環境が大きく変化しています。

また、新型コロナウイルス感染症、国際紛争、原油・物価高騰など、当初、想定しえなかった事態も生じています。

こうしたことから、基本構想の見直しを検討すべき時期にきていると考えますので、まずは、総合計画審議会におけるグランドデザインの点検の議論を通じて、中長期的な視点で、本県における社会環境の変化をしっかりと検証してまいります。

現行基本構想の構成

第1章 基本目標

1 基本理念

「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する

2 神奈川の将来像

- 1 行ってみたい、住んでみたい、人を引きつける魅力あふれる神奈川
- 2 いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川
- 3 県民総力戦で創る神奈川

第2章 政策の基本方向

1 政策展開の基本的視点

- (1) 神奈川からエネルギー政策を転換します
- (2) 環境と共生し持続可能な社会づくりを進めます
- (3) 暮らしの安全・安心を確保します
- (4) 地域に活力を生み出します
- (5) 少子化、高齢化への対応を進めます
- (6) 豊かさの質的充実を支援します
- (7) 県民との協働・連携を強化します
- (8) 地域主権を実現し、広域連携の強化など広域自治体としての責任を果たします

2 政策分野別の基本方向

- | | |
|--------------|-----------|
| (1) エネルギー・環境 | (2) 安全・安心 |
| (3) 産業・労働 | (4) 健康・福祉 |
| (5) 教育・子育て | (6) 県民生活 |
| (7) 県土・まちづくり | |

3 地域づくりの基本方向

- | | |
|----------|---------|
| 川崎・横浜地域圏 | 三浦半島地域圏 |
| 県央地域圏 | 湘南地域圏 |
| 県西地域圏 | |

策定時の背景

人口減少・超高齢社会

- ・ 2025問題
- ・ 県人口減少の予測

東日本大震災

- ・ 大規模地震
- ・ 電力不足

基本構想について（論点）

■ 現行の基本構想策定後の10年間で、人口減少局面への移行、デジタル化の加速、地球温暖化の進行、風水害の激甚化、新興感染症への対応、生活困窮の顕在化など、時代は大きく変わったと考えられることから、中長期的な視点に立って点検を行いたい。

① 点検報告書（素案）に示した社会環境の変化を検証するためのデータや時代認識に不足はないか

② 各委員の専門分野において、中長期的な視点から認識された、もしくは認識されつつある課題はないか

- ・ 基本構想の点検で示したデータには表われないが、2040年ころを見通した時に、中長期的視点から、各分野において認識された課題はないか

③ 基本構想の見直しの必要性はあるか。また見直しを行う場合、どのような観点で見直すべきか

- ・ 社会環境の変化を踏まえた「基本目標」「政策の基本方向」の見直しの必要性はないか

⇒ 社会環境の変化により新たな課題が生じていることから、変化を俯瞰的に捉えて政策を検討しなおすことが必要ではないか

- ・ 目標年次の2025年（令和7年）も近づいている